

令和8年度公開プロセス結果（概略版）

府省庁名 国土交通省

事業名 次世代コンテナターミナルの構築に向けた港湾技術開発に必要な経費

事業の概要

コンテナターミナルにおける生産性向上や労働環境改善、安全性向上に向け、技術開発案件を公募。外部有識者委員会を通じて採択・継続・終了時に審査を行い、開発した技術の社会実装へつなげるものである。

※「租税特別措置・補助金見直しに関する関係閣僚等及び副大臣会議（第2回）」において示された、国民からのご提案を踏まえた各府省庁における自己点検の視点。
（参考） [各府省庁における要求・要望に向けた自己点検](#)

公開プロセスにおいて踏まえられた「点検の視点」※

- 効果検証を強化し、成果に基づく制度運用へ転換すべき

有識者からの主な指摘事項

- 中長期アウトカムについて、（現在の）複合要因で決まる指標から、本制度単体での寄与を図る指標への改善を志向されており、賛同する。アウトプット偏重で効果の測定が弱い印象もあったが、今回定量的効果の考え方が示され、今後は申請時に開発効果を求めることも検討されており、アウトカムとしての採用も検討することが望ましいのではないかと感じた。
- 技術開発のプロセス、目標、評価も経過とともに改善されており、大きな変更は必要ない。（研究開発の当初は想定していなかった）副次的効果も拾えるような総合評価の余地をどこかに残していただければと思う。第三者評価を経て改善を重ねるといった仕組みは重要かと思う。単独指標とはならないまでも、研究（成果）へのアクセス数を拾えると（本事業や本事業に基づく研究に対する）社会的関心やニーズの確認にもつながると感じた。
- 短期的には、個別の技術開発の結果（実装件数、企業により採択された件数等）をアウトカムとし、長期的には、かかる技術が当該技術に関連する点で港全体の効率化にどこまで繋がったかというアウトカムを設定し、短期的な個別の視点だけでなく、長期的にどこまで技術が広がり得るか、汎用性が見込めるか等の視点に立ってより広く効果が見込める技術開発を採択すべき。